WDBCOCO

2027年3月期
Q2決算説明資料（2026年11月6日）

WDBココ株式会社（証券コード　7079）

サマリー

- 安全性情報管理サービスの症例数が減少。追加・新規案件の立ち上げにより減収幅を一部抑制するも、減収
- 減収に対して、労務費の適正化により収益性の向上を実現
- 進捗は想定範囲内であり、業績予想は据え置き

売上高

2,291 百万円

（前年同期比 △5.1%）

営業利益

475 百万円

（前年同期比 +18.7%）

経常利益(率)

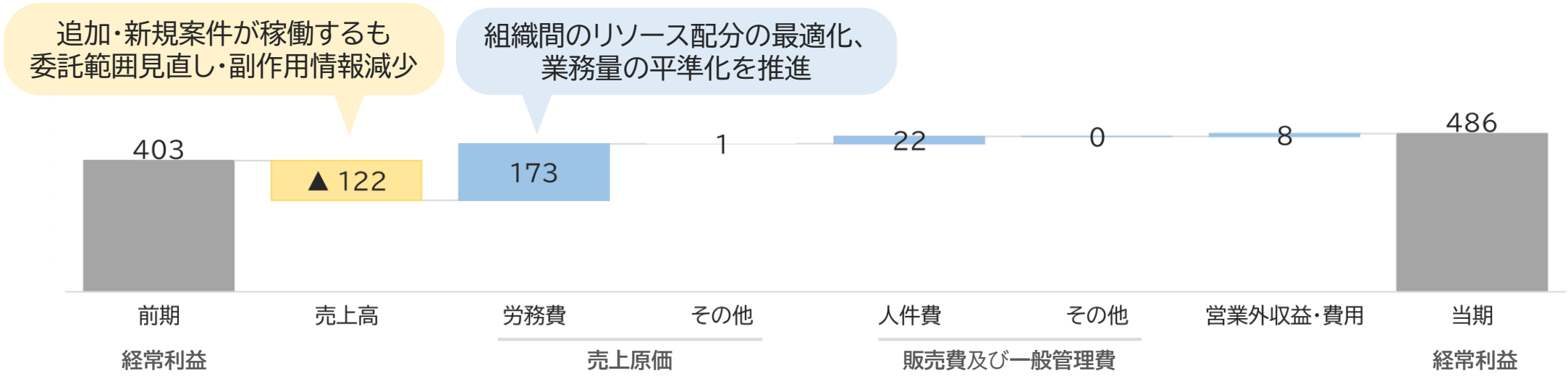
486 百万円 **21.2** %

（前年同期比 +20.5%）（前年同期比 +4.5pt）

業績予想

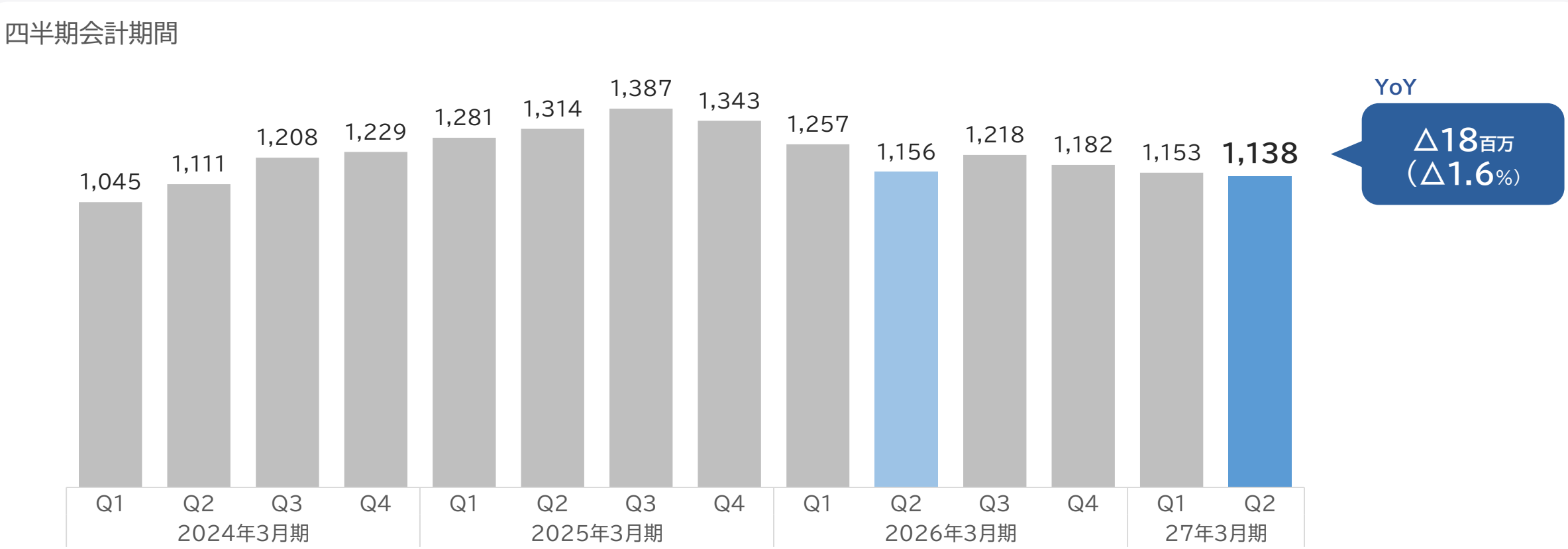
据え置き

売上進捗率 49.2%
経常利益進捗率 50.3%



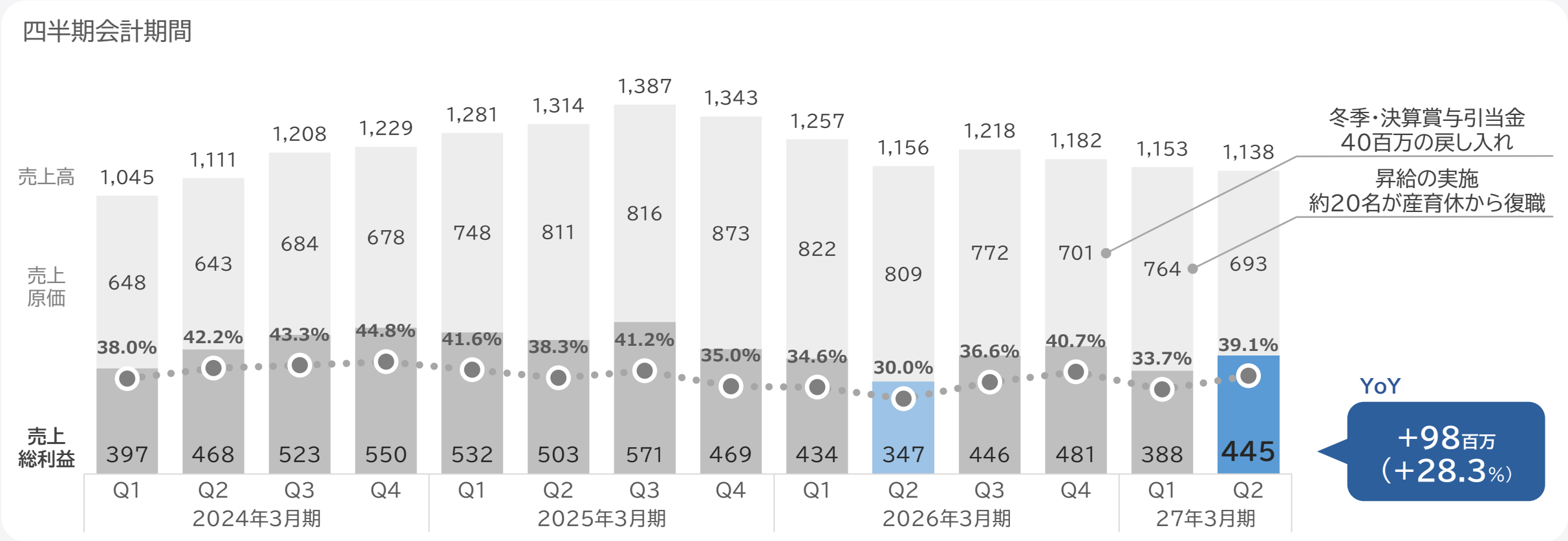
売上高：新規案件が既存案件の縮小を吸収し、26年3月期Q2以降は横這いで推移

- 前年同期比で、△18百万円(△1.6%)。
- 安全性情報管理サービスの一部顧客にて副作用情報の症例数が減少傾向。
- 安全性情報管理、ドキュメントサポートのサービスにおいて、既存顧客からの深耕案件や、新規顧客からの新規案件の稼働を開始。これによって減収影響の一部を吸収。



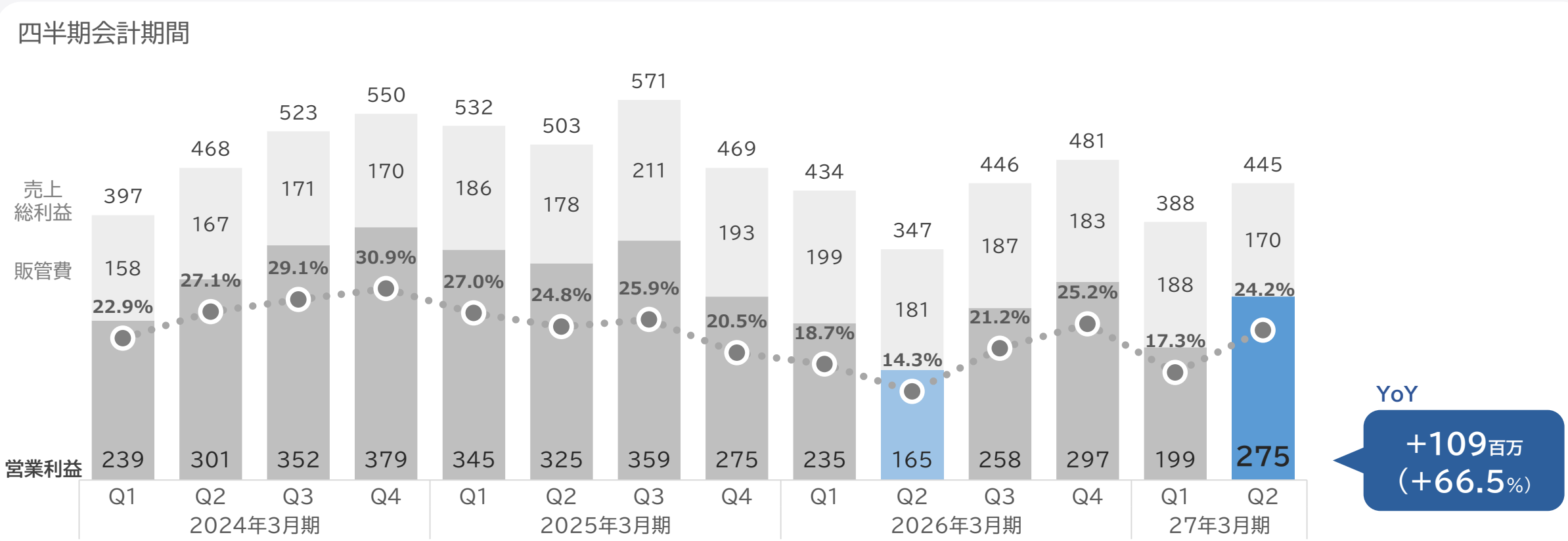
売上総利益：売上原価の抑制により、増益

- 前年同期比で、＋98百万円(+28.3%)、利益率は9.1pt増加。
- 売上高が横ばいも、組織間のリソース配分の最適化と業務量の平準化を推進し、労務費の適正化と収益性の向上を実現。



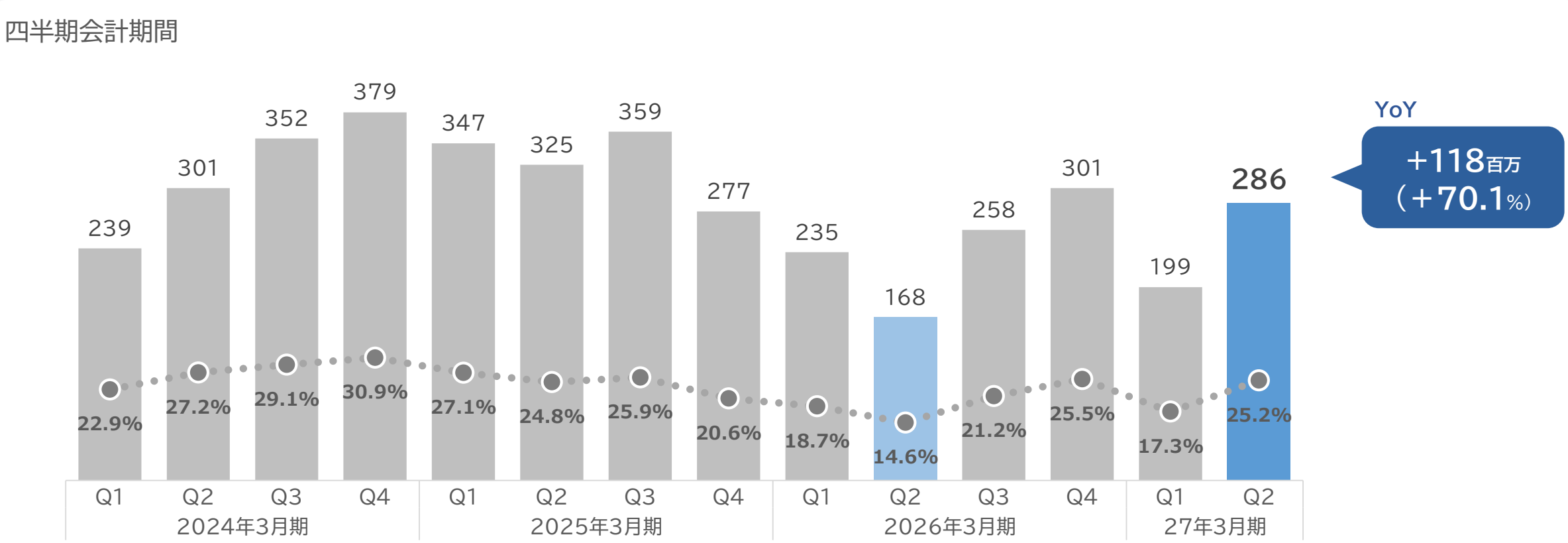
営業利益：売上総利益増加の影響を受け、増益

- 前年同期比で、+109百万円(△66.5%)、利益率は9.9pt増加。
- 売上総利益の増加により営業利益を押し上げる。
- 販売費および一般管理費の抑制を継続的に努める。



経常利益

- 前年同期比で、+118百万円(+70.1%)、利益率は10.6pt増加。

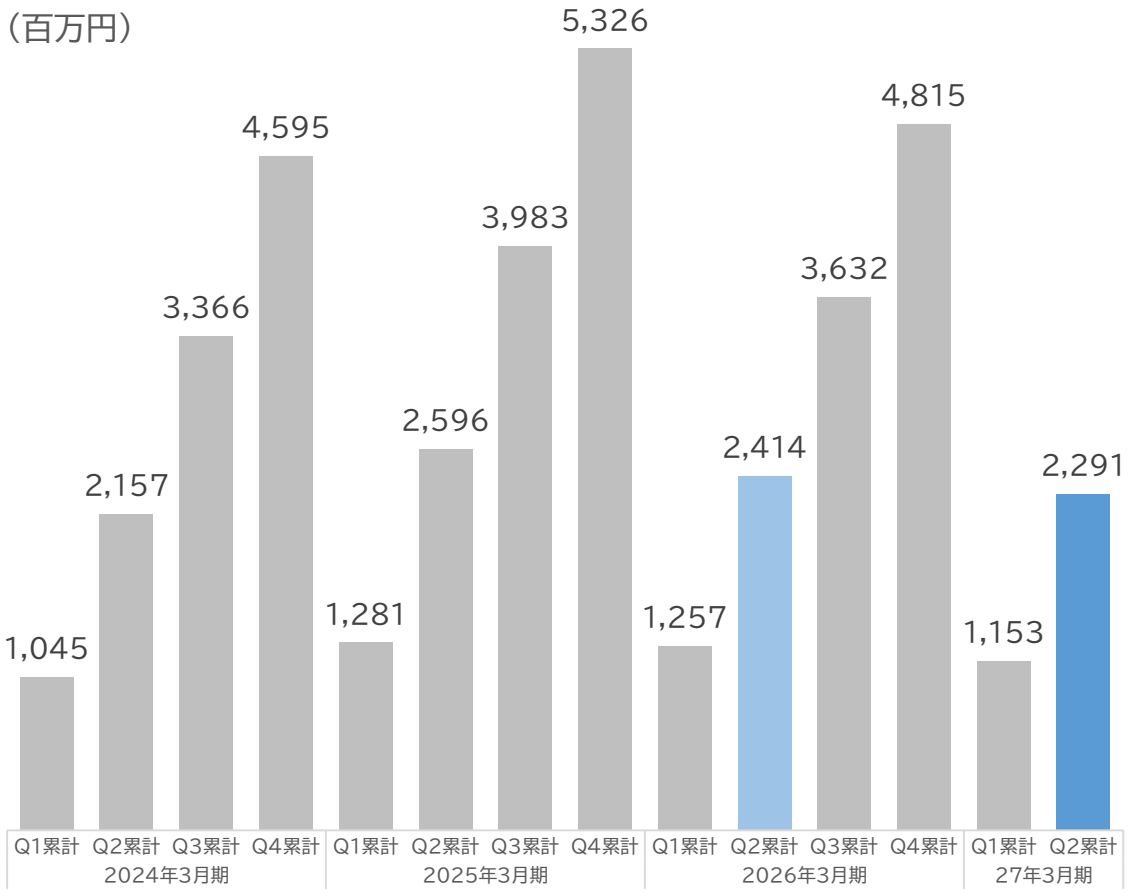


累計期間の業績

	2026年3月期	2027年3月期	
（百万円）	Q2実績	Q2実績	前年同期比
売上高	2,414	2,291	△5.1%
売上総利益	782	834	+6.6%
売上総利益率	32.4%	36.4%	+4.0pt
営業利益	400	475	+18.7%
営業利益率	16.6%	20.7%	+4.1pt
経常利益	403	486	+20.5%
経常利益率	16.7%	21.2%	+4.5pt
EPS	116.06円	138.16円	+19.0%

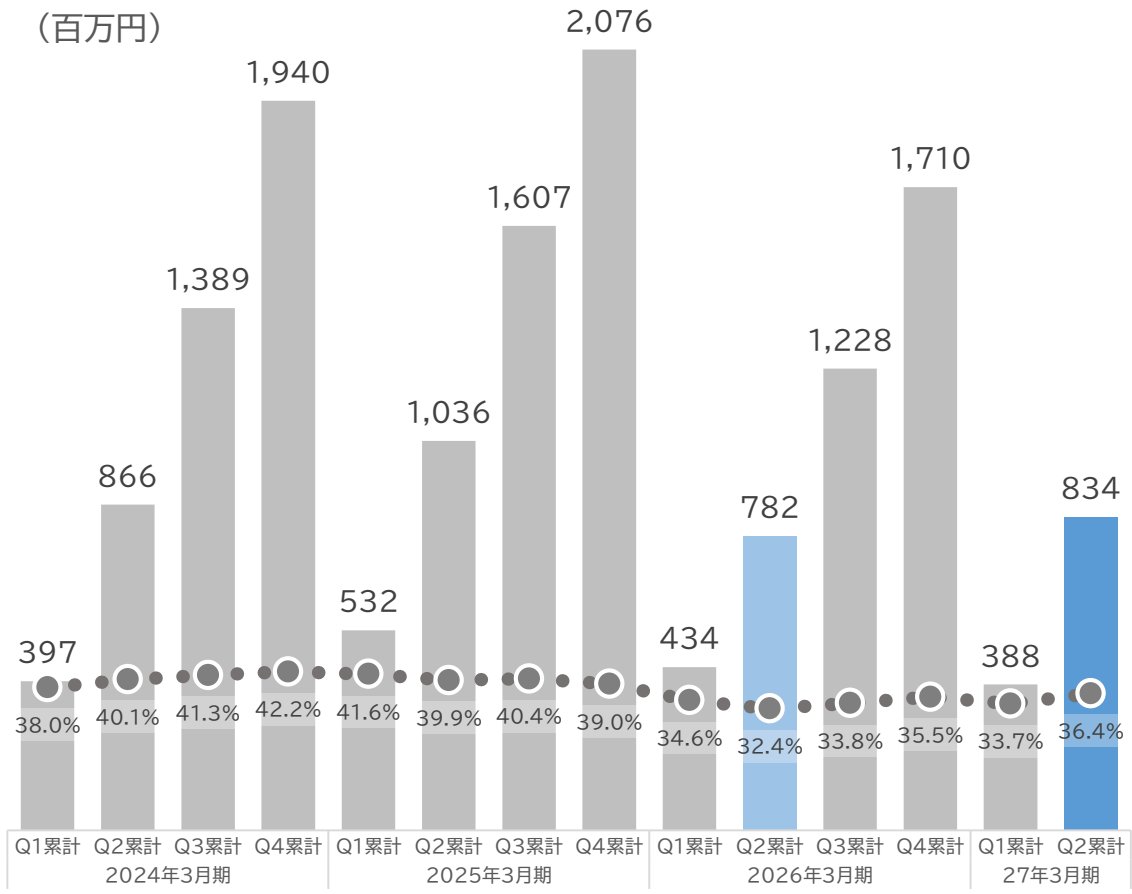
累計期間の業績推移（売上高・売上総利益）

■ 売上高
（百万円）



YoY
△122百万
（△5.1%）

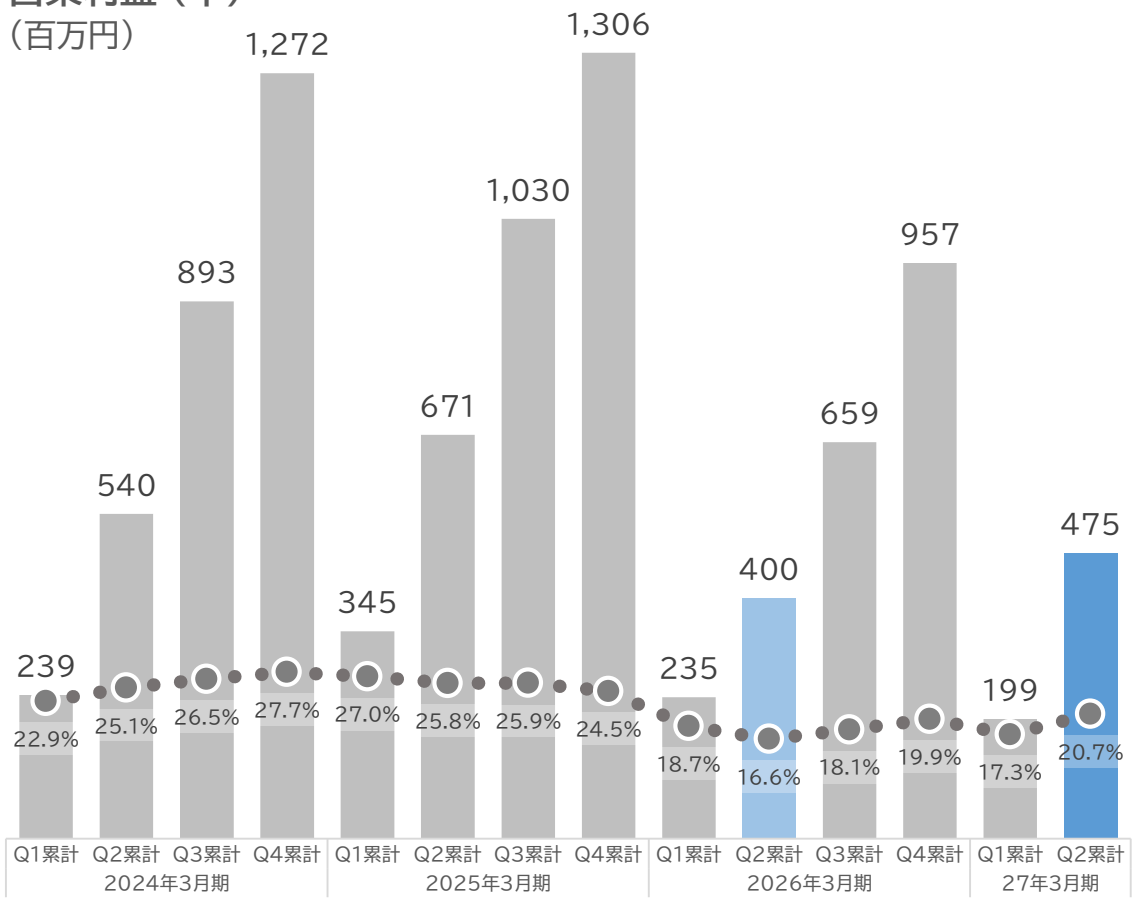
■ 売上総利益（率）
（百万円）



YoY
+51百万
（+6.6%）

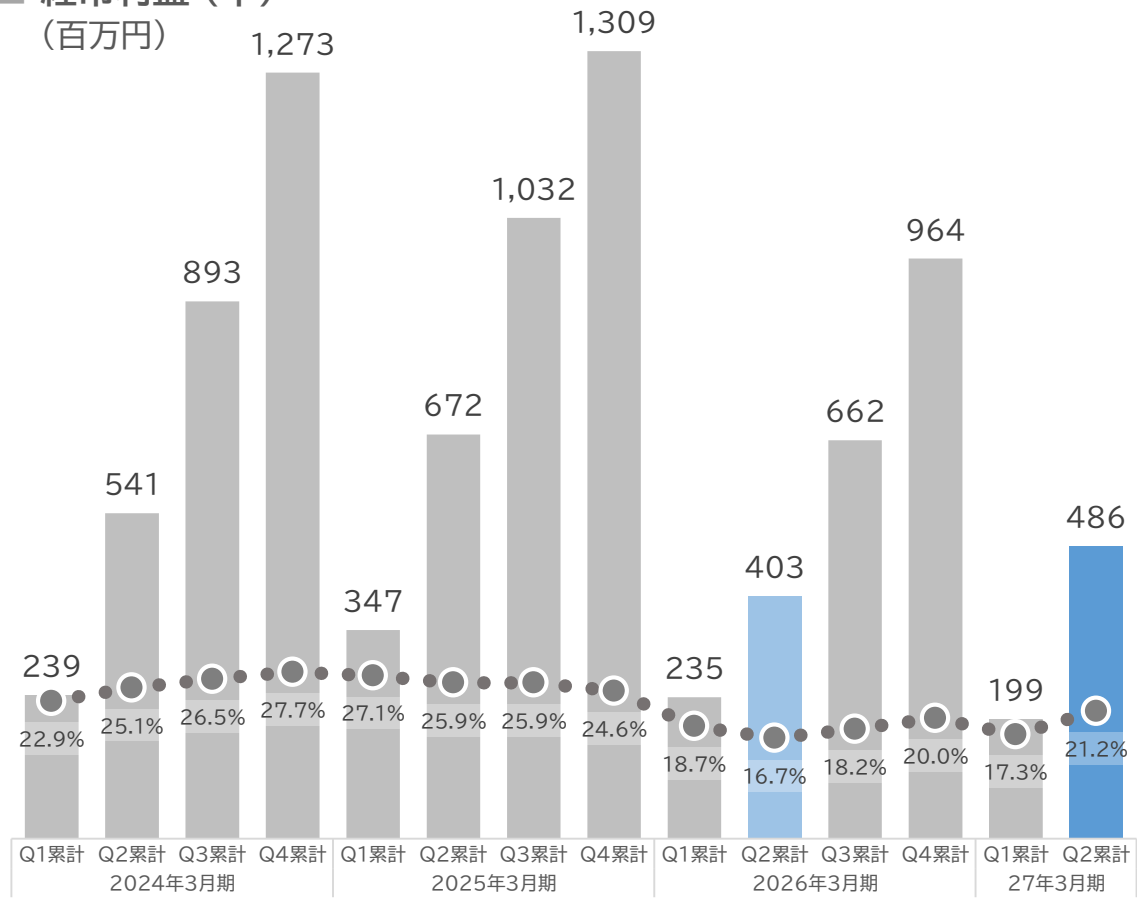
累計期間の業績推移（営業利益・経常利益）

■ 営業利益（率）
（百万円）



YoY
+74百万
（+18.7%）

■ 経常利益（率）
（百万円）

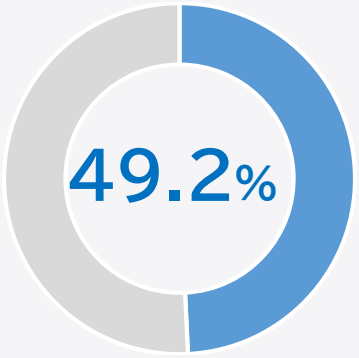
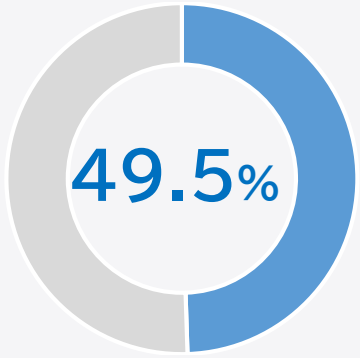
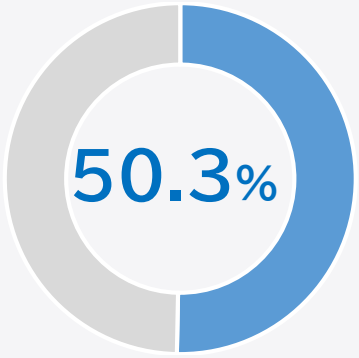
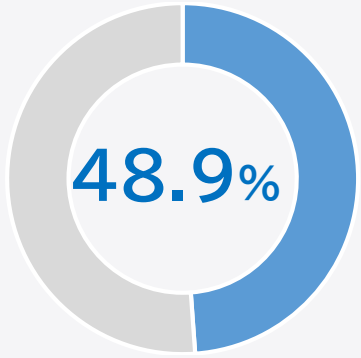


YoY
+82百万
（+20.5%）

業績予想：Q2進捗は想定範囲内であり、業績予想に変更はありません

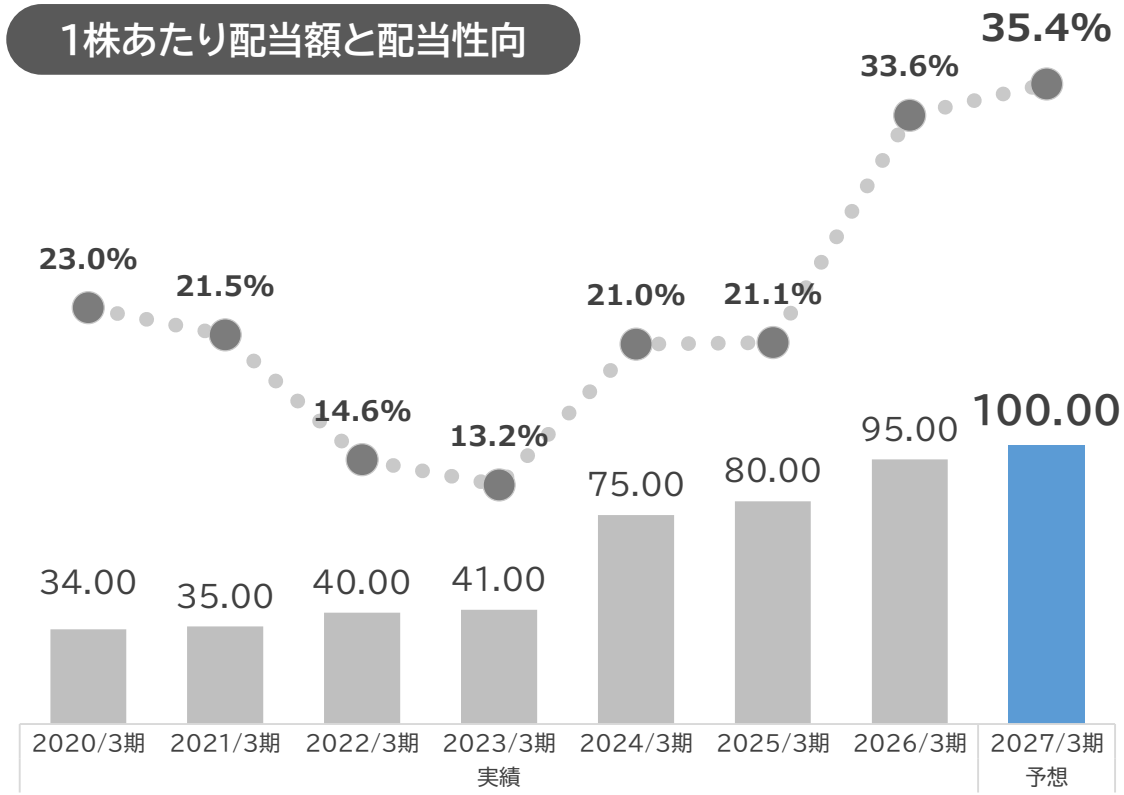
予想の背景

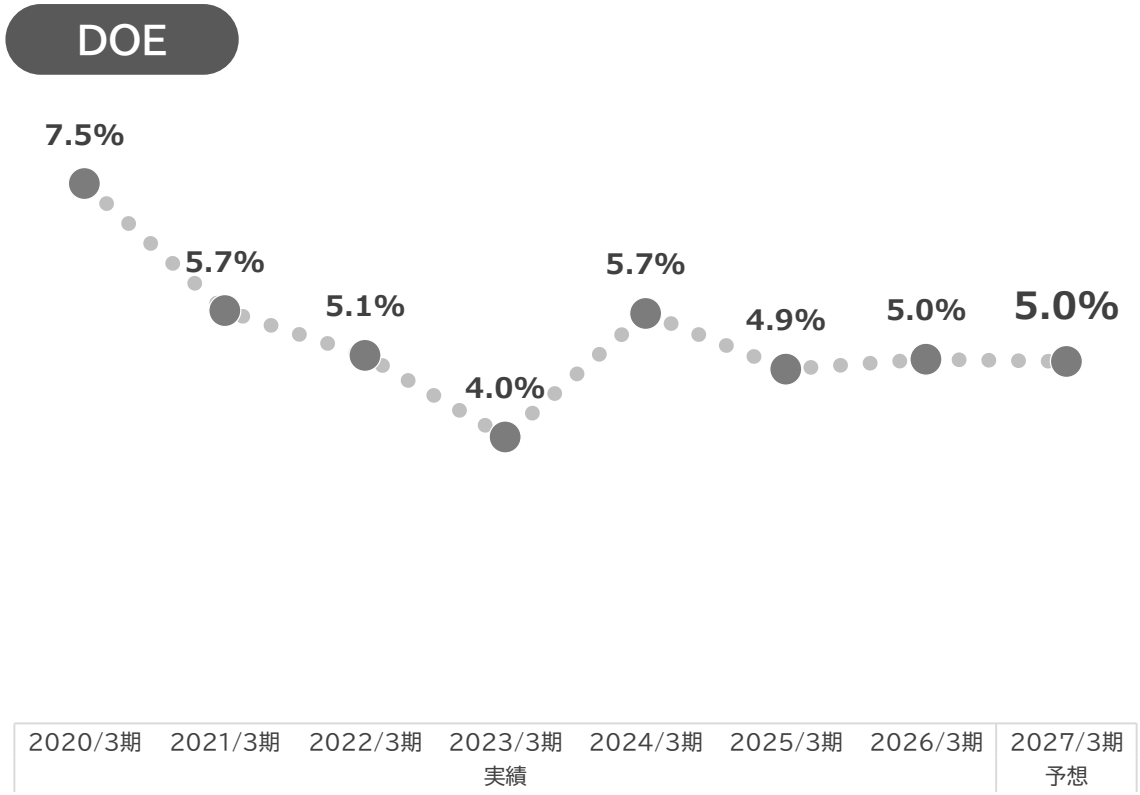
- 主軸業務の安全性情報管理サービスの一部顧客において、副作用情報の症例数の減少が前期から継続するため、減収の見通し
- 業務の属人化を排除し、業務プロセスの標準化と自動化によって、事業の構造化を推進することで、品質の再現性と生産性を向上を図る
- 従来のドキュメントサポートサービスの提供価値を再定義したうえで提案し、新規受注を拡大する

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
進捗率				
2027年3月期 Q2実績	2,291 百万円 （前年同期比 △5.1%）	475 百万円 （前年同期比 +18.7%）	486 百万円 （前年同期比 +20.5%）	332 百万円 （前年同期比 +19.0%）
期初業績予想	4,655 百万円	960 百万円	967 百万円	680 百万円

株主還元

- 従来は、企業価値の向上のために、成長投資に向けた内部留保の確保を重視。
- 企業価値の向上をより加速するため、株主の皆様への還元を継続的に強化。
- 2027年3月期の配当は1株100円00銭を見込み、配当性向35.4%、DOE 5.0%の予想。



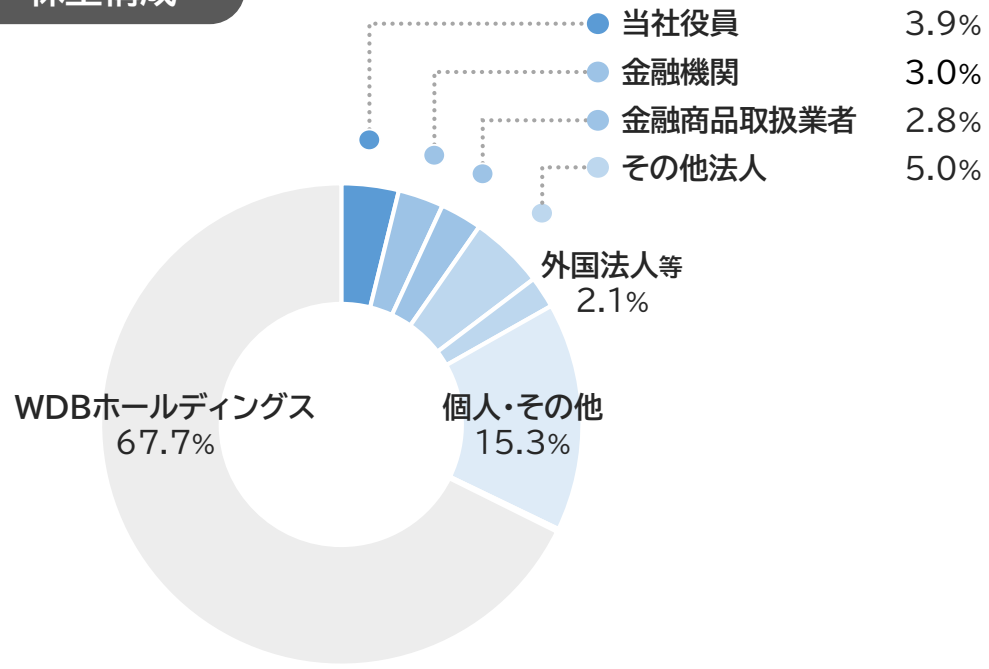


株式情報（2026年9月末 現在）

株主数 等

発行可能株式総数	8,000,000 株
発行済株式数	2,405,000 株
株主数	1,387 名

株主構成



大株主

順位	株主名	所有株式数	持株比率
1	WDBホールディングス株式会社	1,627,200	67.7%
2	株式会社UH6	96,300	4.0%
3	谷口 晴彦 役員	60,000	2.5%
4	日本証券金融株式会社	35,500	1.5%
5	株式会社SBI証券	34,330	1.4%
6	五味 大輔	34,000	1.4%
7	WDBココ従業員持株会	21,200	0.9%
8	株式会社日本カストディ銀行（信託口）	20,700	0.9%
9	西森 初音 役員	18,000	0.7%
10	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	17,100	0.7%

会社概要

社 名	WDBココ株式会社
設 立	1984年8月
資 本 金	2億7,998万円
上場市場	東京証券取引所 グロース市場 （証券コード：7079）
事業内容	医薬品、医療機器における安全性情報管理、 製造販売後調査（PMS）、臨床研究を主軸に、 市販後業務に特化したCRO
代 表 者	谷口 晴彦
本 社	東京都中央区晴海1-8-11 トリトンスクエアY 27F
従業員数	611名（臨時雇用者95名含む）- 2026年3月末時点
拠 点	関西オフィス （神戸） オペレーションセンター （東京、大阪、神戸）

経営理念

「成果の保証」と「新しい価値の提供」を通じて
お客様の課題 を解決し、医療の未来 に貢献する

経 営 陣


代表取締役 社長
谷口 晴彦


取締役
平光 初音


取締役
藤原 素行


取締役
今村 敦


取締役
齋藤 和貴


取締役
大塚 美樹


取締役（社外）
横川 堅太


取締役（社外）
大井 理

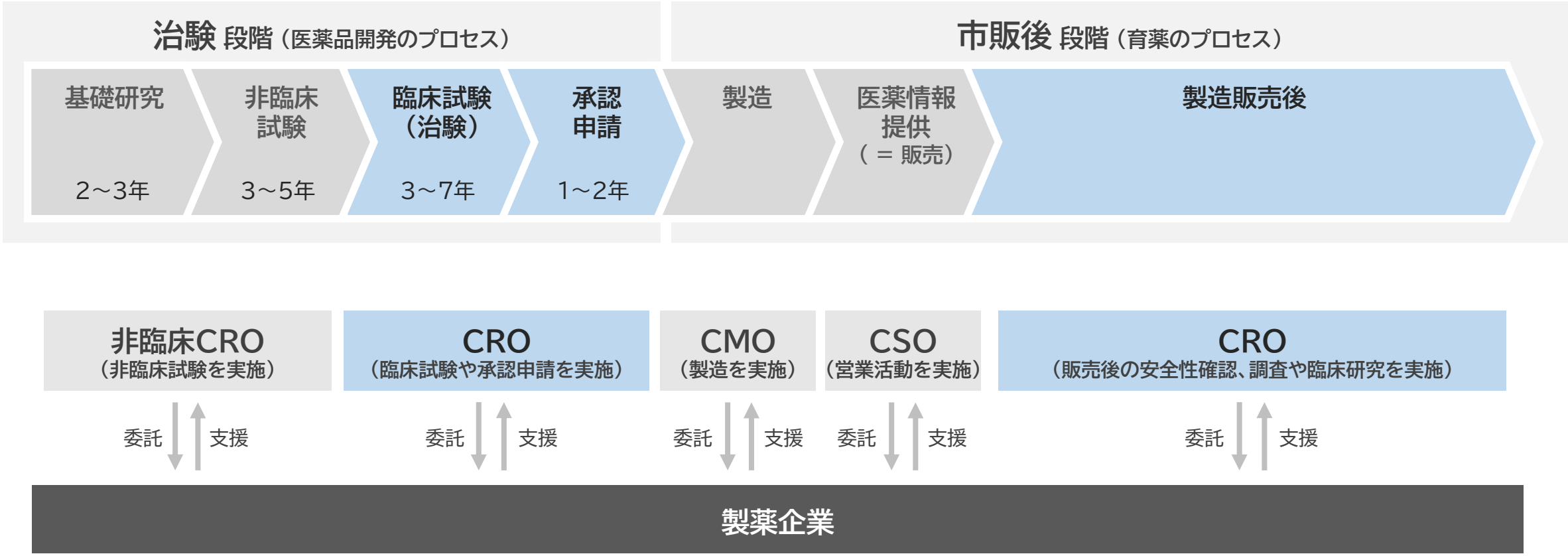

監査役
齋藤 譲一


監査役（社外）
小出 敏彦


監査役（社外）
浅見 雄輔

医薬品開発における当社(CRO)の位置づけ

- 医薬品開発においては、基礎研究～製造販売後調査まで、長期間に渡って様々なプロセスが発生。
- 製薬企業は、各開発プロセスを短期・効率的に実施するため、専門の受託機関(CRO)に業務を委託。
- WDBココは、CROとして、臨床試験や承認申請、製造販売後のプロセスにおいて業務を受託。



CROの支援内容における当社の位置づけ

- WDBココは、主に製造販売後の段階におけるサービスを提供。
- 特に、医薬品を販売する限り業務が発生する「安全性情報管理サービス」が主軸。

治験 段階（医薬品開発のプロセス）　**市販後 段階**（育薬のプロセス）

基礎研究 → 非臨床試験 → 臨床試験（治験） → 承認申請 → 製造 → 医薬情報提供 → 製造販売後

開発プロジェクトごとに業務が発生
（数か月～数年程度の有期業務）

販売をする限り業務が発生
（永続的な無期業務）

臨床試験 の支援内容

- モニタリング
- データマネジメント
- 統計解析
- ドキュメントサポート サービス
- 安全性情報管理サービス

承認申請 の支援内容

- メディカルライティング
- ドキュメントサポート サービス

製造販売後 の支援内容
（製造販売後調査サービス）（臨床研究サービス）

- 施設契約
- モニタリング
- データマネジメント
- 統計解析
- モニタリング
- データマネジメント
- 統計解析
- 臨床研究事務局

製造販売後 の支援内容

- 安全性情報管理サービス

一般的CROの主軸サービス

WDBココの提供サービス

WDBココの主軸サービス

※臨床試験でも同サービスを提供

事業・決算説明会の開催について

- 当社事業や決算の内容についてご理解いただく機会として、オンライン説明会を実施します。
  皆さまのご参加をお待ちしております。

説明会要項

日時	2026年11月26日（木） 20:00～20:45予定
開催方法	ZOOMウェビナーによる開催
ご説明内容	1. 当社の事業内容について 2. 2027年3月期 Q2決算発表について
スピーカー	取締役 藤原 素行
お申込み方法	事前に以下のフォームよりご登録ください。 お申込みフォーム： https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_-9qMGUOfQXu923ifRCwDjw

本資料の取り扱いについて

- 本資料の作成に当たり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。
- また、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。
- 当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化や顧客のニーズ及びユーザーの嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。
- また、本資料発表以降、新しい情報や将来の出来事等があった場合において、当社は本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新又は改訂を行う義務を負うものではありません。

WDBココ株式会社 経営企画グループ

www.wdbcoco.com/ir/

ir-info@wdbcoco.co.jp